

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	いっぽんざいだんほうじんにほんきょうげきしんこうきょうかい			
制作団体名	一般財団法人 日本京劇振興協会			
代表者職・氏名	代表理事 潮新		団体ウェブサイトURL	
			https://www.shincyo.com/	
制作団体所在地	〒	156-0055	最寄駅(バス停)	船橋六丁目
	東京都世田谷区船橋6-7-1 エスカイア千歳船橋103			
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
ふりがな	しんちょうげきいん			
公演団体名	新潮劇院			
代表者職・氏名	主宰・張春祥(本名:潮新)		団体ウェブサイトURL	
			https://www.shincyo.com/	
公演団体所在地	〒	156-0055	最寄駅(バス停)	船橋六丁目
	東京都世田谷区船橋6-7-1 エスカイア千歳船橋103			
制作団体 設立年月	2016年1月(任意団体としては1996年 1月)			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 潮新 常務理事 梅木俊治/理事 加藤徹 評議員:佐藤信、劉穎、平林宣和 監査:山下輝彦		役員3名(うち非常勤1名) 評議員3名 監査1名 非常勤職員2名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名		梅木 俊治 根目澤 容子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者		梅木俊治
本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号
	iyunkai@shincyo.com			08034863352

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>祖父の代から三代に渡って受け継ぐ京劇一家に生まれた張春祥が日本での京劇普及と日中文化交流を目的に設立。在日京劇俳優と日本人俳優とで構成され、日本人にもわかりやすく京劇を伝えるとともに、コラボレーションや新編京劇創作などの先駆的試みも行う。日本人俳優の育成にも務めている唯一の在日京劇団。</p> <p>1996年 在日京劇団「新潮劇院」として設立 1999年 日本人舞台俳優とのコラボレーション、日本人向け演出、日本語セリフ導入を開始 2000年 初となる創作京劇「中国の不思議な役人」上演 2002年 一般向けの京劇教室開講 2009年 元中国戯曲学院講師・張桂琴を招いての京劇俳優研修制度開始 2014年 中国最高峰の児童伝統芸能コンテスト「小梅花」金賞を受賞 2016年 「一般財団法人 日本京劇振興協会」として法人化 2018年 子供京劇団「世田谷こども京劇団」設立 2020年 能楽・京劇コラボレーション作品「霸王別姫～能楽と京劇 日中ユネスコ無形文化遺産の融合～」を令和2年度（第75回）文化庁芸術祭参加公演として上演 2022年 文化庁「ARTS for the future!」補助事業 中国伝統芸能コラボレーション公演「鍾馗 病魔を斬る」上演、など</p>	
	学校等における公演実績	<p>2015年～ 文化庁の学校巡回公演事業採択（2019年度除く） 2015年8月 久留米シティプラザプレ事業「夏休みだ！ 京劇 やってみる観る?」 2016～2018年 ヨコハマアートサイト2016「こども京劇プロジェクト」 横浜市内保育園・小中学校京劇公演と共演型公演実施 2016年 成城ホール「こども京劇」 2017年8月 福岡・大阪・東京にて日中子供伝統芸能交流公演 2018年度～横浜山手中華学校で発足した「京劇部」の指導担当 2019年12月～2020年1月 子どもゆめ基金助成事業「こども京劇プロジェクト in 兵庫」など 2020年11月～2021年2月 令和3年度大阪市演劇鑑賞会関連事業 京劇ワークショップ （小学生をメインターゲットにしたワークショップ事業） 2021年2月 令和3年度大阪市演劇鑑賞会「はじめての京劇～孫悟空vs 白骨精」 （小学生をメインターゲットにした共演型公演事業） 2023年 第19回 子どもたちと芸術家の出あう街 参加（小学校アウトリーチ・子供へのワークショップ・実演）、和光鶴川幼稚園での京劇上演など 2024年 和光鶴川幼稚園での京劇上演</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>2017年12月 「ヨコハマアートサイト2017」にて横浜市立ろう特別支援学校での京劇上演 2018年7月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年1月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2019年9月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年9月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2021年3月 千歳台福祉園にて京劇上演 2022年3月 千歳台福祉園にて京劇上演（オンライン） 文化庁の学校巡回公演事業において、特別支援の生徒・児童の参画・共演が複数回あり。</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://shincyo.com/jyunkai/kikaku2.html	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	shincyo
		PW:	jyunkai2024

別添	あり
----	----

【公演団体名 新潮劇院 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	新潮劇院 京劇公演「はじめての京劇」			
企画のねらい	本企画は、少人数体制で効率的に巡回しながら、子供たちに中国の伝統芸能「京劇」の魅力を体験してもらうことを目的としています。華やかなメイクや衣装、優雅な所作、迫力ある立ち回りを間近で感じることで、普段触れることの少ない異文化を実感し、文化の多様性に親しむ機会となります。さらに、全員が参加できる体験型アクティビティを取り入れ、単なる鑑賞にとどまらず「自分も舞台に関わる」体験へと発展させます。プロ俳優とともに舞台を創り上げていく経験は、子供たちに表現の楽しさを実感させ、自信や積極性、創造力を育むきっかけとなります。 こうした体験を通じて、子供たちの異文化理解を深めるとともに、将来的な国際的視野の広がりや、多文化共生の意識の芽生えにつなげ、地域文化の振興にも寄与していきます。			
演目概要・演目選択理由	1. 京劇の代表作抜粋上演 / 2. 剣舞～霸王別姫より / 3. 二將軍～三国志より 最初に印象的な京劇の代表作を抜粋上演しながら、京劇の特徴である「唱(うた)」や「様式」をわかりやすく紹介します。興味を持たせながら徐々に長編へと移行することで、段階的な理解を深めつつ自然に京劇の魅力へ引き込まれる構成です。 「霸王別姫」は近年話題となった映画「国宝」にも影響を与えた京劇を代表する名演目で、クライマックスの悲哀に満ちた剣舞は特に有名な場面です。続く「二將軍」は日本でも親しまれる『三国志』の一節を題材にしており、迫力ある立ち回りや個性豊かな人物描写が特徴です。兵隊役として子供たちが共演できる要素や歓声を上げて参加できる演出も盛り込まれており、観客・共演者の双方に大変喜ばれる演目です。			
児童・生徒の参加または体験の形態	①観客全員で「京劇の発声」や「見得を切る」といった様式的な動きに挑戦します。 ②観客全員で舞台上の將軍にセリフを投げかけ、芝居の進行に参加します。 ③事前ワークショップに参加した児童・生徒が観客への指導役として俳優と協力し、発声や動きのお手本を示します。 ④事前ワークショップ参加者が、本格的なメイクと衣装を身につけて舞台上に登場したり、舞台裏で掛け声を担当したりします。 ⑤観劇中も観客は拍手や「好(ハオ)！」の掛け声で舞台を応援し、演者と観客とが一体となって舞台を盛り上げます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	6～36名	
		鑑賞人数目安	最大 600名程度	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【プログラム構成】 1. 京劇レクチャー 2. 楊貴妃の唱～貴妃醉酒より / 3. 京劇の発声に挑戦 4. 走辺(ゾウビェン)～打焦贊(だしょうざん)より / 5. 京劇の動きに挑戦 6. 剣舞～霸王別姫より [休憩] 7. 京劇のセリフに挑戦 / 8. 二將軍～三国志より 9. カーデンコール、集合写真撮影 (いずれも古典演目／脚本・演出 張春祥) ※別添あり(1)(2)			
	公演時間 80 分			
	出演者			
出演者	出演：張春祥(新潮劇院団長)／張桂琴(元中国戯曲学院講師)／劉東風(北京京劇院出身)／南部快斗(劇団隕石のかげら) 司会：張島梅			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	[演出・主演：張春祥] 祖父の代から京劇を家業とし、北京京劇院に13年間所属。海外公演で主演を務め好評を博す。1989年来日後、蜷川幸雄演出「さらばわが愛・霸王別姫」、宝塚歌劇団「蒼穹の昴」など、舞台や映画、振付指導で幅広く活躍。1996年より京劇団「新潮劇院」を主宰。 [主演：張桂琴] 中国戯曲学院大学・大学院修了後、山西省京劇団で活躍。母校で講師も務める。専門は文武を兼ねた難役「刀馬旦」。 [主演：劉東風] 中国戯曲学院卒業後、北京京劇院に入団し張春祥と共に海外公演で主役を務める。1990年来日。立ち回りや道化役まで幅広くこなす。			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者： 4 名 スタッフ： 1 名 合 計： 5 名		運搬	積載量： 1.25 t 車 長： 4.69 m 台 数： 1 台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間		1	時間程度		
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出		
	前日18時	設営:前日18～19時 メイク・着付:8～10時		13時～14時半	10分	14時半～17時	17時		
	※本公演時間の目安は、概ね2時間分程度です。								
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</small>	6月		7月		8月		9月		
	10日		0日		0日		10日		
	10月		11月		12月		1月		
	13日		10日		10日		8日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		61日		
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) ※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し				図1) 舞台配置 ○床面に持ち込み絨毯を敷き、舞台とします。 (5.4m×7.2m) ○体育館舞台は緞帳を下ろし、着替えや通り抜けのスペースとして活用します。 ○舞台左右には袖幕を立てて字幕を表示します。字幕は低学年にも分かるように簡潔な表現でフリガナもふっています(中学校用の字幕も用意があります)。 ○字幕投影のため暗幕やカーテンで自然光を遮断し、持ち込みの照明・音響を設営します。 (完全遮光は不要です)					
				図2・3) メイク・着付 事前ワークショップで練習した生徒・児童は、本格的な京劇メイクを受けた後、衣装を着付けます。プロの俳優と同じ手順を踏むことで、本番に向けて気持ちが高まり、特別な舞台体験となります。					
				図4) 上演の様子 前半は演目の一場面を上演しながら、京劇の様式について順番に説明・体験していきます。体験では事前ワークショップで練習した生徒・児童も指導に協力します。後半はプロの京劇俳優と子供たちが共演して、舞台を創り上げます。観客も拍手や「好(ハオ!)」の掛け声で応援したり、劇中のセリフを全員で投げかけたりして舞台に参加します。京劇は大きな舞台装置を必要とせず、設営や撤収も比較的短時間で対応可能です。					
				図5) 共演児童の舞台鑑賞 出演する生徒・児童も、舞台横に設営した袖幕の内側から舞台を鑑賞できます。演じる側と観る側の両方を体験することで、舞台への理解が深まり、参加の満足度も一層高まります。					
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名				
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

新潮劇院

】

ワークショップの
ねらい

本ワークショップは、子供たちが中国の伝統芸能「京劇」に直接触れながら、プロの俳優たちと共に舞台を創り上げることを目的としています。普段接する機会の少ない文化に触れることで、異文化や伝統芸能への理解と関心を深めるだけでなく、身体を動かし、声を出し、指導役や配役を担うことで、創造に関わることの楽しさを体感します。また、仲間と呼吸を合わせて表現する経験を通じて、自然と協調性やコミュニケーション力が育まれます。

舞台上でのパフォーマンスを通じて得られる「共同で創造する達成感」は、自己表現への自信を高めるだけでなく、他者と協力して一つの作品をつくりあげる喜びを学ぶ貴重な機会となります。子供たちは、この体験を通じて異文化を自らの体験として捉え、将来に向けた国際的な視野を広げるきっかけを得ることを目指しています。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

最大70名程度

ワーク
ショ
ップ
の
内
容ワークショップ
実施形態及び内容

【京劇の世界への導入(15分)】

日本人俳優が子供たちと会話を交えながら、短い画像や動画を用いてレクチャーを行います。「伝統芸能とは何か？」から始め、日本の芸能と比較しつつ、京劇の歴史・様式・キャラクター・メイクなどをわかりやすく紹介します。

【体験型アクティビティ(30分)】

全員参加で京劇の表現を体感します。

1. 指の表現

役柄や性別ごとに異なる指使いを学ぶ。

2. セリフ体験

本公演で使う兵隊役の掛け声を練習(簡単な一言)。

3. 立ち回り体験:新聞紙の剣を使って簡単な剣舞や見得を体験。最後にグループごとに音楽に合わせて立ち回りを行い、観客役の子供たちは掛け声で応援。鑑賞時の参加方法も学びます。

【休憩】

【共演の役割分担決定(10分)】

本公演での協力する役割分担を決めていきます。見得指導チーム/掛け声チーム/立ち回りチーム希望者が多い場合は、体験した所作を使った「京劇式じゃんけん」でメンバーを決定します。

【演技指導と質問コーナー(35分)】

体験で学んだ動きやセリフを実際の舞台での役割に結びつけて練習します。最後に俳優との質疑応答を行い、京劇の魅力をさらに掘り下げます。

その他ワークショップに
関する特記事項等

●特別支援学校での実施

京劇は派手な衣装やメイク、誇張された所作や感情表現によって、言葉に頼らずとも楽しめる「ノンバーバルな演劇」として成立しており、特別支援学校でも特別な変更を加えずに上演できます。

児童の共演については、障害の内容や程度に応じて対応方法が異なるため、事前に学校担当者と十分に協議し、個々の状況に合わせた調整を行います。これにより、すべての児童が安心して参加できる環境を整え、円滑な実施を可能にします。

別添	なし
----	----

【公演団体名 新潮劇院 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。			
	会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量	30 A以上
	舞台設置面積	間口	14.4 m	奥行	6 m
		高さ	0 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可
	搬入間口の広さ	幅	1 m	高さ	1 m
	遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否	必ず必要
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	100 m以内
	搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台
	搬入車両の大きさ	車幅	1.88 m	車長	4.69 m
備考	京劇は舞台装置がシンプルで柔軟な対応が可能。屋内であれば、ほぼあらゆる環境で上演可なので、上記条件に該当しなくても応相談で対応します。				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	不要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

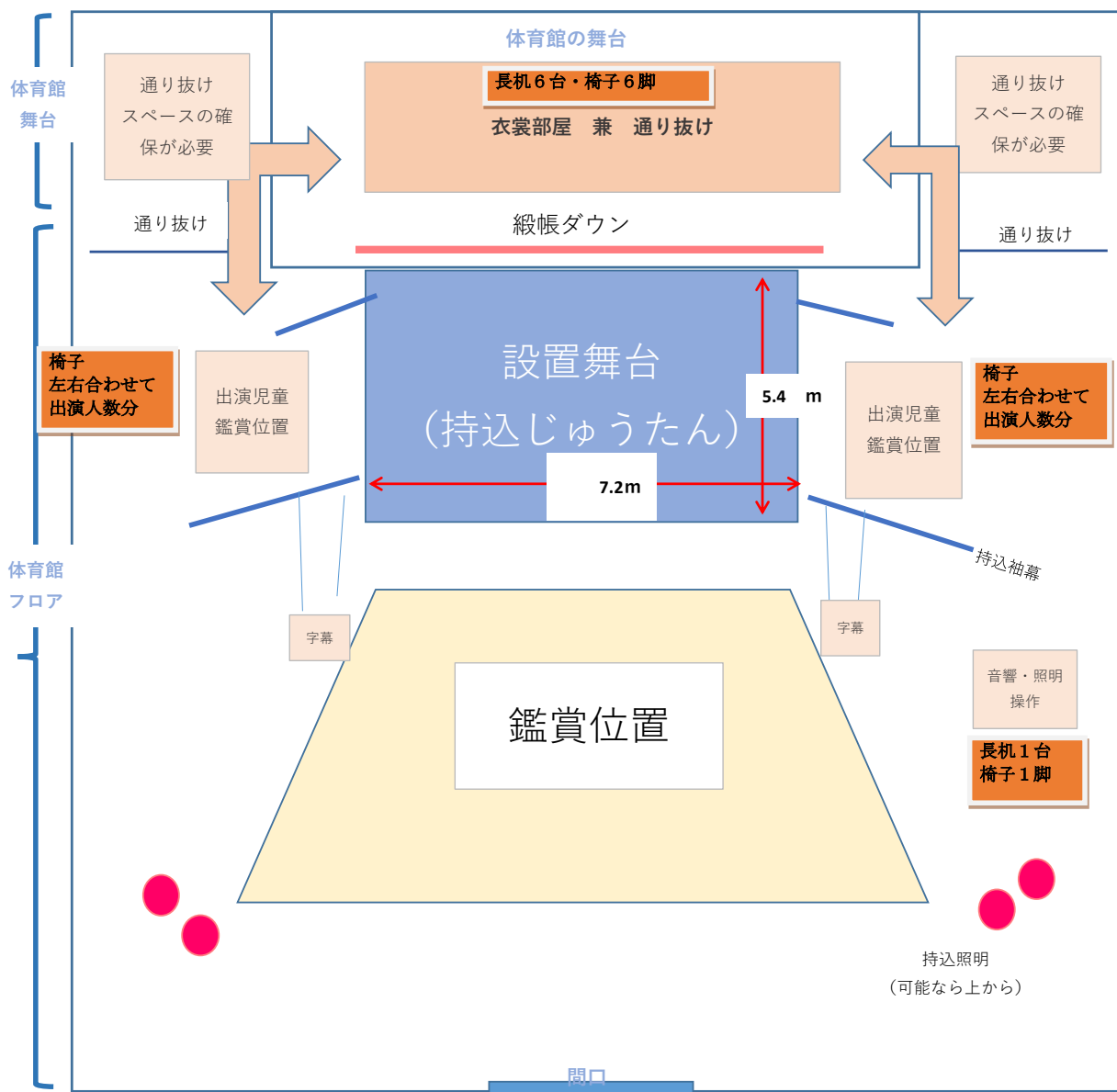
時間 外 対 応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	鑑賞対象となる児童・生徒全員	5分	ワークショップ実施前ならいつでも	新聞紙を丸めて棒を作る	
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	45分	本公演当日のメイク・着付けを行う前	実際の舞台上で音響設備を使ったリハーサル	ワークショップと本公演が別日の場合のみ実施。同日の場合はワークショップ時間内で対応します。
	本公演	鑑賞対象となる児童・生徒全員	45分	上記のリハーサル中	バックヤードツアー ・衣装レクチャー ・化粧レクチャー	上記リハーサルによってクラスから一部の共演児童・生徒が抜けてしまい、授業が進められなくなる場合の対応。

個別 確認 事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
	3	

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名

新潮劇院

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

当団体は、中国伝統芸能「京劇」を上演する唯一の在日京劇団体として、日中をつなぐ文化の架け橋となることを使命としています。京劇の魅力を子供たちに伝えることは、日本における京劇普及の推進にとどまらず、将来の日中友好や日本の伝統芸能の継承にもつながる大切な取り組みと考えています。

本企画は、普段触れることのない外国文化を子供たちが直接体験し、「舞台を一緒に創り上げる楽しさと達成感」を味わえることを重視した構成です。自身の役割が舞台全体を支えている実感が自己肯定感や文化的意識を育み、国際的な視野や多文化共生への理解につながります。

さらに、この体験を通じて、将来舞台芸術や国際交流の分野で活躍する人材が育つことを期待しています。特に、離島やへき地といった文化体験の機会が限られる地域においても、子供たちの中から次世代を担う人材が発掘されることは大変意義深く、この事業の大きな成果になると考えています。

また、学校内にとどめず地域住民や近隣校と観劇を共有し、広報活動を通じて公演の様子を発信することで、地域文化の振興にも発展させたいと考えています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

少人数での巡回ながら、子供たちの力を舞台に組み込み、共演・掛け声・応援など多様な参加形態を設けています。プロ俳優と子供たちが協力しなければ完成しない構成で「一緒に舞台を作る」実感を最大化しています。特に令和7年度から小学校1クラスが最大35名となることを踏まえ、1～2クラス全員が関われるよう演出を調整しています。観客席の子供たちも掛け声や唱で参加できる仕組みを導入し、舞台全体が一体感を持てるようにしています。

伝統芸能や外国文化の「敷居の高さ」を解消するため、導入レクチャーには工夫を凝らし、中国語の挨拶練習や、「YouTubeのなかった時代のエンタメ」といった現代的な言葉を織り交ぜています。また、共演児童・生徒とは衣装やメイク準備から俳優と時間を共にし、声をかけたり着付けを手伝ってもらったりすることで、仲間意識と安心感を育んでいます。こうした関わりにより、初めて京劇に触れる子供たちも自然に舞台に溶け込みやすくなります。

さらに、学校にとどまらず地域住民や近隣団体の鑑賞にも学校側と連携し、子供たちの成果を地域全体で共有する機会を設けています。これにより、舞台体験が子供たちの自己表現の場にとどまらず、地域文化振興や将来の人材発掘にもつながるよう工夫しています。

【学校との連絡調整について】

過去の実績を踏まえて、学校に必要な説明事項はドキュメント化されています。これを学校に事前送付した後、担当教員と約45分の電話確認を行うことで認識のずれを防ぎ、現地訪問をせずとも準備を円滑に進められるようになっていきます。団体担当者は専任制とし、正確かつ迅速に対応します。連絡方法はFAX・メール・電話・LINEなど複数の手段を用意し、各校の事情に合わせて柔軟に対応しています。

さらに、学校との打ち合わせ事項や旅程、手配状況などは独自のシステムで一元管理しています。これにより、制作担当者間の連絡漏れや学校への対応抜けを防ぎ、キャストへの情報伝達もスムーズに行うことができます。こうした体制によって、教員の負担を最小限に抑えつつ、学校側に安心していただける確実な連絡調整を実現しています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

本公演では、小学校用の字幕を低学年でも理解できるよう平易な文章とし、すべてにフリガナを付しています。京劇は大げさな所作や表情によってノンバーバルに成立するため、幼稚園児の観覧時や特別支援学校でも大きな変更なく対応可能です。

共演する児童については、障害の内容や程度に応じて事前に学校担当者と協議し、安全に参加できる環境を整えています。過去にも障害のある児童が共演に参加した実績があり、無理のない範囲で役割を担い、安心して舞台を楽しみました。

また、出演俳優は京劇の舞台経験に加え、日本での教育活動にも豊富な実績があり、子供たちへの指導に長けています。舞台設営もシンプルで学校環境に応じて柔軟に調整でき、出演者自身が設営・裏方作業・運転手を兼任することで効率的な運営を実現しています。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

本公演の終演時には、日本の伝統芸能やインターネットを通じた動画配信による京劇視聴、芸術に携わることの楽しさなどを紹介し、関心を持った子供たちが公演後も自ら学びを深められるよう呼びかけしています。

また、スタッフが公演中の様子を記録し、終了後に学校へ提供することで、子供たちの振り返りや活動報告の資料として活用していただいています。学校によっては後日感想文を送っていただくこともあり、子供たちにとって学びを振り返る機会となっています。こうした取り組みにより、公演体験を一過性のものとせず、学習の定着や次の探究活動へとつなげています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

別添	なし
----	----

【公演団体名 新潮劇院】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績	過去の学校巡回事業においてC区分(過疎・山村・離島・半島・奄美・小笠原)に該当する学校10校以上での上演実績があります。今回申請の企画につきましても令和4年度の巡回公演で実施しています。
②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫	<p>【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】</p> <p>京劇は簡素な舞台装置で上演できるため、視聴覚室や体育館など限られた環境にも対応でき、折り畳み式の幕や軽量の道具を用いることで短時間で設営・撤収が可能です。これにより、会場条件に左右されず安定した質の公演を提供できます。</p> <p>また、少人数校等においても、子供たちを補助者や共演者として舞台に参加させ、仲間と協力して一つの作品を創り上げる達成感を味わえるようにしています。さらに、ワークショップと本公演を同日に実施することで、学んだことをすぐ本番で活かせる一貫した体験を重視し、より強い充実感を得られるようにしています。</p> <p>加えて、希望があれば公演後には俳優との質疑応答や交流の時間を設けるほか、地域住民にも観覧を呼びかけることで、子供たちの取り組みを地域全体で共有します。これにより、異文化理解を深めるとともに、地域コミュニティ全体の活性化にもつなげます。</p> <p>【質を保つための工夫】</p> <p>京劇には1～2名の主演のみで上演できる演目が多く、少人数でも十分に見応えのある舞台を実現できるため、本企画はその特性を活かした構成です。さらに、子供たちが兵士役などの脇役を演じることで舞台が一層華やかになりつつ「自分も舞台の一員になれる」という体験も提供します。単なる鑑賞にとどまらず地域全体が参加者として楽しめる公演を目指し、参加型要素を積極的に取り入れつつも、舞台の軸はプロが担うことで安定した完成度を確保しています。</p> <p>また、当団体の俳優・スタッフは長年にわたり学校巡回公演に携わり、舞台設営や音響・照明の操作、さらには司会やレクチャーも兼任できる体制を確立しています。音響・照明は1台のPCシステムで集中管理することで、限られた人員でも円滑に進行可能です。効率化によって省スタッフながらも高い水準を保ち、その分、子供たちとの交流や体験の質を充実させることに力を注いでいます。</p>
③特別エリア区分応募における、費用面の工夫	<p>本企画では、限られた予算の中で質の高い公演を維持するため、以下の工夫を行っています。</p> <p>○コンパクトな機材管理 舞台装置や道具をすべてコンパクトにまとめ、1台の車で運搬と俳優の移動ができるようにしています。折り畳み式の幕や軽量小道具を活用することで、運搬費・設営時間を最小限に抑えています。</p> <p>○出演者・スタッフの多役兼任 俳優が複数役を担当するほか、出演者自身が設営を行い、舞台監督が司会・音響・照明・字幕操作を兼任する体制を整えています。これにより、必要人数を削減し、人件費を効率的に管理しています。</p> <p>○ワークショップと本公演の同日実施 午前にワークショップ、午後に本公演を行うことが可能な体制を整えることで、移動費や宿泊費を削減しています。時間と費用の両面を抑えつつ、一貫した体験を子供たちに提供しています。</p> <p>○継続的なコスト見直し 過去の公演のデータを基に、常に移動・運搬や設営の効率化を図り、毎年継続的にコスト削減を見直しています。これにより、より多くの離島やへき地でも安定して公演を提供できるよう、費用面・効率面での工夫を重ねています。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名	新潮劇院	】
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	[前半]			
	1. 京劇レクチャー 日本人俳優による楽しいレクチャーを通じて、京劇の鑑賞方法や背景知識を学びます。京劇は、観客が声をかけて応援できる、気軽に楽しめる芸能です。「静かに見る」という日本の演劇の印象とは異なり、観客も参加して盛り上がる文化であることを伝え、拍手や「好（ハオ）！」の掛け声の練習で鑑賞の準備を整えます。毎回、この練習は大変な盛り上がりを見せます。			
	2. 楊貴妃の唱～貴妃醉酒より 京劇の代表的な演目「貴妃醉酒」から、世界三大美人の一人、楊貴妃が登場する場面を披露します。英語で「ペキン・オペラ」と言われるように、歌唱が京劇の核心にあります。もともと歌舞伎のように男性が女性役を演じていた名残によって甲高く優雅な歌声と感情表現の豊かさが特徴です。子供たちに京劇の歌唱の美しさを体感してもらいます。			
	3. 京劇の発声に挑戦 京劇独特の歌声を聞いた後、発声法について学び、全員で挑戦します。丸みのある独特な発音は、日常の言語とは違う新鮮さがあり、子供たちにとってユニークな体験となります。リズムや発声の楽しさを感じながら、京劇の音の世界に触れます。			
	4. 走辺（ゾウビエン）～打焦賛（だしょうざん）より 武人が道を急ぐ様子を舞踏で表現する登場様式を紹介し、セリフは一切使わずに、その緊迫感や状況を表現する京劇の様式美を観客に伝えます。			
	5. 京劇の動きに挑戦 先ほどの走辺を通して京劇の見得や舞台の使い方を紹介し、京劇の見得を全員で挑戦します。打楽器の音に合わせて動きをすることで、気軽に楽しく京劇俳優らしさを体験できます。			
	6. 剣舞～霸王別姫より 京劇の様式や見所を十分に理解してもらってから京劇の代名詞ともいえる名作「霸王別姫」での虞姫の剣舞を披露します。四面楚歌の中、劉邦に追い詰められた項羽を慰めるため、虞姫が舞う剣舞は京劇の象徴的な場面です。優雅でありながらも力強い動きが観客を引き込みます。			
	[休憩] 休憩の間にワークショップ参加者は次の全体体験や舞台共演の準備をします。			

リンク先	No.2	【公演団体名	新潮劇院	】
<p>本公演演目</p> <p>原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>[後半]</p> <p>7. 京劇のセリフに挑戦 京劇の特徴的なセリフ回しを体験するプログラムです。次の演目で俳優に向けてかけるセリフを全員で練習し、観客と舞台の一体感を生み出します。ワークショップで参加した子供たちが実演をリードし、観客への誘導役を担うことで、学校全体が一緒に公演を盛り上げるムードを高めます。全員が一つの舞台を成功に導くための協力体験となり、達成感を共有することができます。</p> <p>8. 二將軍～三国志より 日本でも有名な三国志の一節から、馬超と張飛の一騎打ちを描いた迫力あるアクションシーンを披露します。鎧を身にまとった二人の猛将が舞台上で激しくぶつかり合い、ワークショップ参加した子供たちも兵士役として舞台上に立ったり、舞台裏から掛け声をかけたりしてストーリーの一部を演じます。観客も先ほど練習したセリフを俳優に呼びかけます。特徴だった性格の將軍たちによるリアクションや、京劇ならではの豪快な立ち回りは必見です。</p> <p>9. カーテンコール、集合写真撮影 カーテンコールでは、出演者と共演した子供たちを紹介し、代表児童が俳優に向けて感想を述べ、子供たちの成長や感想を共有します。京劇の舞台と一緒に創り上げた達成感を味わう瞬間です。最後に、共演メンバーやクラスメイトと一緒に記念撮影を行い、思い出を形に残します。</p> <p>[その他特徴] 日本語字幕と解説: 舞台両側には日本語字幕が表示され、各演目の前に簡単な解説が入るため、内容が分かりやすいです。俳優の表情や動きが非常に大きいため、字幕を追わなくても十分に理解でき、視覚的にも楽しめます。</p>			

